

TRIZ Future Conference (ETRIA) 2013 参加感想

2013/11/5 泉丙完 (早稲田大学)

今年 10 月 28 日～31 日にパリの Arts et Métiers ParisTech で行われた TRIZ Future Conference (ETRIA) 2013 に研究発表のため参加しました。以下に、Conference の様子や主な発表内容等を報告させていただきます。

1、概要

TRIZ Future Conference (ETRIA) は毎年欧州で行われている、TRIZ に関する国際 Conference で、毎年、欧州以外にも米国、アジアや中東等からの参加者も参加している。この Conference の大きな特徴は、企業の実務者と大学の研究者らがほぼ半々くらい参加していることであり、今回の発表でも Scientific session が 41 件、Professional session が 35 件あり、実務と研究のバランスのとれた Conference であった。今回注目すべき点としては、140 人の参加者の中で韓国からの参加者が 20 人と多く来ており、韓国の TRIZ 熱を感じさせられた。

2、主な発表内容

今回の Conference への発表応募が 110 件に対し、76 件が採択され、ほぼ例年並みの採択率であるとのことであった。Scientific session の中では、“イノベーション効率化”や“発明向け教育”の分野が最も多く、次に、“TRIZ の改定”や“TRIZ と他の手法による連携や最適化”の分野の発表が多く、“経験に基づく TRIZ の多様化”、“IP 等に関する研究”の分野の発表等も多数あった。また、Professional session においては、“事例研究”や“TRIZ 教育導入”や“TRIZ を応用した方法論”、“TRIZ と他の手法との連携による支援”や“TRIZ 導入手法”等の発表があった。

当方が特に注目した発表としては、以下のような内容があった。

・ Using ARIZ to improve Pinhole Photography

Philips 社の Christoph Dobruskin の発表で、ARIZ を用いて具体的な開発事例の説明が行われたが、ARIZ が VE の機能分析と似た感覚で使われており、技術的問題を解決する上で ARIZ の重要性を再認識させられた。発表後、Dobruskin 氏に聞いたところ、彼は Philips 社の社内コンサルタントとして働いており、社内にて ARIZ に基づく問題解決がとても有効であるが、社内の事例を出せないで自分の趣味の Pinhole Photography で発表を行ったとのことであった。

・ Collective intelligence to solve creative problems in conceptual design phase

フランスの Toulouse 大学の Rene Lopez Flores らの発表した TRIZ と知的データベースにより概念設計を支援するシステムに関する研究で、当方の研究テーマとも通じる点があり興味深かった。フランスでは、Denis Cavallucci を始めとする多くの TRIZ の実用化システム開発に関する研究が活発に行われているようで、研究者層の厚さを感じた。

・ Enhanced Unlatch Operation of Disk Drive for Low Temperature Environment

Samsung 社の Kyoung-Whan Oh が発表した、低温時の HDD ドライブのトラブルを TRIZ の発明原理を使って解決した事例発表。特に複数の優先度の異なる問題に対し、どのように問題を整理し解決したかがよくわかる大変いい事例発表であった。Samsung 社はこのような具体的な開発事例はめったに発表しないが、Samsung 社が HDD 事業を売却したため、このような研究の開示が可能になったようである。

・ TRIZ education using Pictographs and Music

日本にも来日し馴染みのある Jeongho-Shin が TRIZ を分かり易く教育するための絵カードや音楽を紹介した発表で、いつものことながら彼のプレゼンの魅力には注目すべきものがある。今回は特に、子供向けに独創力を高めるためのカードを紹介した。彼はこのカードを 1 ユーロの寄付 (ETRIA を通して慈善団体に寄付) を集め 280 ユーロの寄付があったとのことである。また、日本語版のカードも完成しているとのこと、日本での販売先を模索していた。

3、当方の発表



(ETRIA 発表会場で、チェアマンの Tom と)

今回は、“An Optimizing Process based on Information Integration Method” という発表を行った。本研究では、TRIZ等を用いて設計改案を進める際、NamP. Suhや中沢らが提唱したInformation Integration Methodを用いて客観的に評価に基づいて、最適な改善案を導くプロセスを提案した。発表では、Information Integration Methodをなかなか理解してもらえず苦労したが、発表後、何人か興味深い発表であったとの感想を示してくれた。

4、その他、感想

私は、ETRIA 参加が今回で3回目で、何人か親しい研究らにとも再開でき、何となく年に一度のイベントのような感覚で発表や聴講を楽しむことができた。このように TRIZ を通じて各国研究者らと気軽にネットを広げられるところがこの Conference の魅力の一つだと思う。

今回の会場はパリの市内にある名門の技術系の大学であったが、長い伝統のある学校のように、建物がとても風格を感じる場所であった。食事はランチも含め、毎日フレンチのフルコースという贅沢な内容であったが、やはり何日かこのような食事が続くとアジアンテーストが恋しくなり、知り合いの韓国人らと行ったラオス料理屋がとても美味しく感じた。

以上